

2019年度

さくらんぼ 12月号

社会福祉法人 舞鶴市社会福祉協議会

舞鶴こども発達支援施設「さくらんぼ園」(Tel.64-5798・FAX62-9171)

子どもは遊びを通して学んでいます。

さくらんぼ園の駐車場に落ちている枯れ葉を、毎朝、何人かの先生たちと掃くことが日課になっていましたが、その作業からやっと開放されました。やれやれです。

私は、さくらんぼ園に車で通勤しています。だいぶ前のことです。ある日の朝、上安の交差点で、信号が青になるのを一番先頭で待っていました。何気なく左を向くと、自転車に乗った城北中学校の男子生徒が止まっている姿が目に入ってきました。一瞬、「何か困ったことがあるのかな。」と思いました。そして、すぐに、信号が赤だから止まっていることに気づきました。中学生が止まっている前の道は、国道とはつながっているけれど、集落用の道路です。道幅は本当に狭く、車はほとんど通りません。見通しがいいので、流れでそのまま行ってしまいたくなるような交差点です。しかし、その中学生は、信号が青になるのを待っていました。たとえ安全だとしても、交通ルールを守ることは当然のことで、立派でも何でもない訳ですが、「この生徒は、きっと、いい子なんだろうな。」と思いました。この中学生は、当たり前前に社会のルールが守れる子なんだろうと想像し、朝からうれしい気持ちになりました。

社会のルールを守ろうとする規範意識は、どこで身につくのでしょうか。少なくとも、言葉で教えられて身につくものでないことは確かです。

子どもの遊びには、ルールがあります。ルールがなければ、遊びは成り立たないとも言えます。ルールという制約があるから、遊びが楽しくなるという面もあります。

さくらんぼ園では、簡単なルールのある集団遊びをしています。例えば、転がしドッジボールです。逃げられるのは、コートの中だけです。逃げられる範囲が決まっているので、当てられる恐怖心が増し、ハラハラドキドキ楽しいのです。どこまでも逃げられたら当てられることは少なくなり、安心です。しかし、ドッジの逃げ回る楽しさは、味わえません。「当てられたけれど、外に出るのはいやだ。」と、そのまま内野にとどまっている子がいると、ドッジは楽しくなくなります。ルールを理解し、ルールを守って初めてみんなが楽しく遊べます。当てられたら、今度は転がす側になります。内野の友達にボールを当て、再び中に入ることが外野の楽しさです。当てることだけに夢中になったらいいのですが、相手によって、ボールを転がす強さを加減したり、自分ばかり転がすのではなく、友達にボールを渡したりする子が、ときどき出てきます。このように、ルールのある遊びの中で、人を思いやる心も育ちます。

ルールがある遊びをたくさんしたら、規範意識が培われるという訳ではありません。しかし、ルールのある遊びができるようになることで、公平に遊ぶにはルール（決まり）が必要なことや、みんなで楽しく遊ぶには、人の気持ちも大切にすることは学びます。

さくらんぼ園の子どもたちには、友達との遊びを通し、あの中学生のように、当たり前前のルールが、普通に守れる子どもになってほしいと思います。

12月もよろしくお祈りします。

園長 小谷 和弥
職員 一同



療育表



月	火	水	木	金
2	3	4	5	6
←	母	親	教	室
午前療育 午後療育	午前療育 午後療育	午前療育 午後療育	午前療育 午後療育	午前療育 午後療育
9	10	11	12	13
午前療育 午後療育	午前療育 職員会議	午前療育 午後療育	午前療育 午後療育	午前療育 午後療育
16 <small>通先生来園日</small>	17	18	19	20
午前療育 午後療育	午前療育 午後療育	午前療育 午後療育	午前療育 午後療育	午前療育 午後療育
23	24	25	26	27
午前療育 午後療育	午前療育 午後療育	午前療育 午後療育	環境整備	園内研修
30	31	1/1	2	3
お休み	お休み	元日	お休み	お休み

12月の予定

16日(月) 作業療法士 灘先生来園日

*山下浩二臨床発達心理士の相談日は随時、受け付けます。

2日(月)～6日(金) 母親教室です。
持ちもの：好きな飲み物・マグカップ・絵本

◆簡単なおもちゃ作りをします

忘れ物のないようお願いします。

年長児の保護者の皆さま

1月になりましたら、就学先へのスムーズな移行支援を行う為、学校との連絡会を実施致します。

期間：令和2年1月14日(火)～23日(木)
詳細はそれぞれの担任がお伝えしますので、ご理解のほどよろしくお願ひします。

(担任と就学先の先生との連絡会となります)

※12月の療育は25日(水)で終了です。
新年は1月6日(月)から始まります。

避難訓練(消火器の操作法)を行いました

早いもので、今年も終わりの月となりました。寒さも一段と増してくる季節柄、健康に留意され、ご家族で新しい年をお迎えいただきたいと願っております。

11月15日(金)療育終了後、中消防署の署員の指導の下、水消火器を使った消火訓練を実施しました。

消火器には蓄圧式と加圧式の種類があることや、火災にも通常の火災や電気火災などがあるという説明を受けました。防火に対する意識を常日頃から持ち、とっさの判断や対応ができるように努めていきたいと思ひます。

年末は家族団らんで過ごすことが多くなります。暖房器具の使い方には気を付けられ、令和2年のスタートが気持ちよく切れるようにと願っています。



消火訓練の様子

主任 佐藤 育代

